

2025年度 自己推薦入試【基礎学力型】

国 語

〈全学部全学科共通問題〉

11月23日実施 C日程

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の冊子を開かないでください。
2. 本冊子には、16ページの問題文があります。
3. 解答用紙は、すべてマーク・シートになっています。
4. 監督者の指示で、受験番号欄に受験票に記載されている受験番号（数字6桁）を縦に記入し、それぞれ右のマーク欄にマークしてください。受験番号が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。氏名欄に氏名も忘れず記入してください。
5. 解答科目欄には、解答する科目を1つ選び、マークしてください。
6. 解答は、設問の箇所に指示されている解答番号の解答欄にマークしてください。例えば、と指示されている設問に対して、③と解答する場合は、次の例のように解答番号20の解答欄の③にマークしてください。

(例)

解答番号	解 答 欄									
20	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

7. 解答番号は～です。～の解答欄には何も記入しないでください。
8. マークは、硬度HB以上の鉛筆を使用し、訂正する場合は消しゴムでいいいに消し、消しくずを残さないように注意してください。
9. 解答時間は、60分です。

問題Ⅰ 次の(一)(二)の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、*の付いた語句には、文末に注があります。

(一)

いまふたりのひとがいる。そのあいだに交わされることばはない。ふたりのあいだの沈黙。それが深い沈黙、厚い沈黙とでもいうべきものであって、会話の不在でないというのはどうしてなのだろう。ことばの不在が空虚ではなく、おしゃべり以上に充溢^{ちゆういつ}していることがあるのは、どうしてなのか。

ひとはふつうことばの不在を懼^{おそ}れる。ことばが途切れたとき、そしてどちらからもとつさにその不在を埋めることばが出てこないときの気まずい沈黙。そのとき、なにかそれまでの関係がすべて作りものであつたかのように、色褪^あせてくる。他者の親密な感觸というものが、あつけなく崩れる。その不在の前で、じぶんの存在すらも、へちまのようにすかすかになっている……。

ひとはこういう空虚に耐えきれず、どうにかしてことばを紡^{つむ}ぎだそうとする。

だれが話しているのかじぶんでもよくわからないようなことばが、次から次へと虚空^{こくう}に向かつて打ち放たれる。が、そのことばは相手のうちに着地することなく、かといってじぶんのもとへと戻ってくるわけでもなく、ただ空しい軌跡を描くばかり……。そして、ことばではなく、その不在だけがしらじらとあらわになってくる。A、唾^{つば}が涸^かれたときにそれでも唾を吐きだそうとして、血痰^{けつたん}を出してしまうかのように。そしてじぶんは、一刻でもはやく、その場を逃れたがつている。

わたしたちがいま失いかけているのは「話しあい」などではなくて「黙りあい」なのではないか。かつて寺山修司^{*1}はそう問うた。そして、週刊誌やテレビなどのメディアをとおして大きなコミュニケーションが膨れあがればあがるほど「沈黙は死んでゆく」「黙ってられない」ひとたちが増えてゆく……として、つぎのように書いた。

彼等はずきづきと話相手をかえては、より深いコミュニケーションを求め

て裏切られてゆく。そして、沈黙も饒舌も失ってスピーキング・マシンのように「話しかける」ことと「生きること」とを混同しながら年老いてゆくのである。 (「東京暮年」)

しゃべればしゃべるほど空しい気分になる経験、それを押し殺してしゃべるのが人生だ、と言いつもりはないが、ことばがまことのそれであつて空語でないという確信を、ひとはどういうときに得るのだろうか。

意が伝わらないもどかしさにしたいに声を荒らげるひと。かれの声が大きくなるにつれて、そのもどかしさは昂しても消えることはない。逆に、深い沈黙のなかで、ひとは語りつくすことに劣らぬ濃密な交感にひたることもある。

R・D・レインという精神科医が、『自己と他者』(志賀春彦・笠原嘉訳)のなかでこんな話を報告している。

ある看護婦が、ひとりの、いくらか緊張病がかった破瓜型分裂病患者の世話をしていた。彼らが顔を合わせてしばらくしてから、看護婦は患者に一杯のお茶を与えた。この慢性の精神病患者は、お茶を飲みながら、こういった。だれかがわたしに一杯のお茶をくださったなんて、これが生まれてはじめてです。

だれかにお茶を入れること、これはだれもが日常的にしていることである。この患者としていままでに一度も他人にお茶を入れてもらった経験がないわけではないだろう。ではどうして、これを「生まれてはじめて」と感じたのだろうか。

レインはこう解釈する。あるひとがわたしに一杯のお茶を入れてくれるばあい、そのひとはわたしの気を惹こうとしているのかもしれない。わたしを味方につけようとしているのかもしれない。わたしに親切にしておいて、あとからなにかをせびろうという魂胆があるのかもしれない。あるいは、じぶんの茶碗やティーポットを見せびらかしていることもありうる。あるいは、あるいは……。だれかにお茶を入れるということ、そのことが、他人に求められたからでなく、業務として

でもなく、 ティーセットを自慢するためでもなく、「だれかのため」「なにかのため」という意識がまったくなしに、ただあるひとに一杯のお茶を供することとしてあって、そしてそれ以上でも以下でもない、そういうふうにして他人にお茶を入れてもらったと患者が感じたことはこれまでなかったというのだ。

ことばもなく、ただお茶を供するだけの行為が、どうしてこうも深い充足感をもたらすのだろうか。間がもたない、間をとれないという、わたしたちが日々、他人との会話のなかで味わうあのぎこちなさとは、。

ことばの不在がわたしたちの意識をこわばらせるということ、あるいは間がもたないというあの居心地のわるさ、そのなかで沈黙がことばをしっかりと裏打ちし、ことばが沈黙をより厚くするというような、沈黙とことばとの折りあいというのはどのようにしてわたしたちのものとなるのか。

(鷲田清一 『「聴く」ことの本質 臨床哲学試論』)

〔注〕 * 1 寺山修司…一九三五～一九八三。劇作家、歌人。

* 2 看護婦…女性の看護師の旧称。現在は使われない。

* 3 破瓜型分裂病…破瓜型統合失調症の旧称。破瓜型は通常思春期あるいは成人初期の発病とされ、感情の変化が顕著で、妄想や幻覚は通常顕著ではないが、行動は一般に気まぐれで予測し難いとされる。

問一 空欄 ・ に入る語として最も適切なものを、次の①～④の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

空欄 A ① または ② まるで ③ もちろん ④ よって

空欄 B ① ところが ② もしも ③ すでに ④ もちろん

問二 傍線部ア「だれが話しているのか」ふんでもよくわからないようなことばが、次から次へと虚空に向かって打ち放たれる」とありますが、その理由として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

① ことばの不在によって伝えたい内容を十分に理解してもらえないことを心配しているから。

② ことばの不在で他者との関係が壊れてゆき、自己の存在でさえも空

しいものになることを避けたいから。

- ③ ことばの不在が「だれかのため」「なにかのため」になるという意識に繋がってゆくから。
- ④ ことばの不在による気まずい沈黙に耐えきれず、その沈黙の意味を考えようとしているから。

問三 空欄 に入る文として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① およそ正反対の時間である
- ② 何ら変わらない時間である
- ③ とても似ている時間である
- ④ 似て非なる時間である

問四 本文の内容に一致するものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① ひとは、ことばの不在や間がもたないことによって生じる沈黙の意味を勘違いしがちであるが、会話の練習によって真の理解に至ることが出来る。
- ② ひとは、ことばの不在や間がもたないことによって生じる沈黙を避けたくはなるが、深い沈黙の中で会話に劣らない充足感を得ることもある。
- ③ ひとは、ことばの不在や間がもたないことによって生じる沈黙以上に、ことばを介在させて話しあうことを、いま見失いかけている。
- ④ ひとは、ことばの不在や間がもたない時こそ、お茶を供する行為によって、他者との関係を親密にすることが大切である。

(二)

「お櫃分け」という考え方がある。室町時代の『看聞日記』に出てくるからもう六〇〇年以上は続くだろう伝統である。それは自分に巡ってきた幸せを他の人に分けもってもらおうというものである。お伊勢さんにお参りしてお札をもらってきて近所に分けるのがその典型である。皆が働いているときに休みをとってお参りできる、難所の多い遠い道中を無事往復できる、それはもうそれだけで自分の努力を超えた仕合わせ（幸せ）である、それを一人占めするのは愚か者だ、という思想である。現代日本人のお土産好きに受け継がれているのが面白い。決して金満成り上がりの海外旅行から始まった慣行ではない。

この考え方の応用編に、幸せのリレーの思想がある。上の世代から受けた恵みは下の世代にお返ししようというものである。A 乳児時代からの養育の恩は直接感じられる恵みであるが、それを親に返そうと考えなくてもよい。昔は「親孝行したいときに親はなし」だったから、それは実感をともなっていただろう。現在は高齢社会で上の世代にお返しできる環境にはなったが、それでも基本的にこの恵みの上から下への世代間リレーは理に適った考え方である。それは私たちの受け取る恵みは、直接に自分を取り巻く見える人々だけでなく、とてもお返しできないほどの無数の人々からやって来るものだからである。受けた分をそのつどお返しできると考えることは浅薄な合理主義である。受けた分の全部にはならないかもしれないが自分にできるだけの分をできるだけ多くの不特定の他者に受け渡してゆこうというのがその主旨である。

「情けは人のためならず」はこれらを分かりやすく表現したものだ。このことわざは最近、親切は親切をされた人のためにならないから止めておけ、と解される。もともとは、親切は他人にしたように見えて実は廻りまわって自分にその恵みが戻ってくるのだから、たくさん親切を行え、という意味である。もともとこれも現世利益のおいがる。ほんとうは上述したように、私が今生きていること自体がもうすでにさまざまな世話や親切の賜物だから、そのお返しとしてせつせと目の前の他人に親切をなすべきなのである。最近よく耳にするように

なった「ケア」の核心も、ケアする人がケアされる人の「よく生きたい」を自分のそれとともに配慮し、支えることであることを森村修が説いている。ケアは一方的な支援でなく、相互に成長することなのである、と。

支えあいとは幸福の B である。親切にするという正しさは決して感謝されるという幸せをめざしてなされるのではない。今述べた世代間リレーで分るように、もうすでに幸せは与えられているのである。誤解されたり、ありがたいの言葉をもらえなくても、それは不公正ではない。これまでの無数の目に見えぬ恵みにお返しをしないことが不公正なのである。支えられているという幸せに支えるという正しさが加わってはじめて幸福は形をなす。

以上のことを実践していつとも感銘を与えるのは「あしなが育英会」の人たちである。この会はもともと交通遺児の奨学を目的に「交通遺児育英会」として発足した。途中で運輸省の天下り役人に乗っ取られた（現在は文科省所管）が、一九九三年新たに再出発して、災害遺児、病氣遺児、自死遺児にまで広げて四〇年近く支援活動をしてきた。支えられた遺児が支える側にまわりリレーを続けている。インド洋の津波のときもパキスタン地震のときも親を亡くした子どもたちのために全国でまっ先に街頭募金に立った。阪神大震災の被災遺児のためのレインボーハウスも作り上げた。 C。こういう人々がいるということだけでも私たちは励まされる。世の中は悪いことばかりではない、私もできることを、と。

支えあいとは、自立の進化した姿である。決して依存に戻ることはない。共同体主義も、閉じた共同体に戻るのではなく、自律的市民の新しい開かれた共同体、支えあいを実現する共同体を構想しなければならない。

（工藤和男『くらしとつながりの倫理学』）

〔注〕 * 1 お伊勢さん：伊勢神宮を指す。伊勢神宮を丁寧、また親しみを込めていう語。

* 2 現世利益：信仰や修行を通して、この世で受ける利益のこと。

* 3 森村修：日本の哲学者。主な著書に『ケアの倫理』がある。

* 4 レインボーハウス：学校や家とは異なる非日常空間として場が提供され、親をなくした子どもたちの悲しみに寄り添ったプログラムが実施されている。二〇二四年現在、あしなが運動は五〇年以上続いている。

問一 空欄 A に入る語句として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

6

- ① なぜなら
- ② 一方で
- ③ 例えば
- ④ まるで

問二 傍線部ア「理に適った考え方である」とありますが、その理由として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

7

- ① 私たちの受け取る恵みは、自分が受けた分をそのつど直接お返しできるはずのものだから。
- ② 私たちの受け取る恵みは、とてもお返しできないほどの無数の人々からやって来るものであり、できるだけ多くの不特定の他者に受け渡すことでしかお返しができないから。
- ③ 私たちの受け取る恵みは、とてもお返しできないほどの無数の人々からやって来るものであつて、それを一人占めするのは愚かなことであるから。
- ④ 私たちの受け取る恵みは、他人にした親切が廻りまわつて自分に戻ってきたものであり、そのことを自覚して徳を積む必要があるから。

問三 空欄 B に入る語句として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

8

- ① 抽象化
- ② 独占化
- ③ 商用化
- ④ 具体化

問四 空欄 C に入る文として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 9
- ① 支えあいの生きた姿である
 - ② 支えあいの必然的な結果である
 - ③ 支えあいの発展途上の形である
 - ④ 支えあいの端緒的な形である

問五 本文の内容に一致するものを、次の①～④の中から一つ選び、番号で答えなさい。

- 10
- ① 現在は高齢社会なので上の世代に受けた恩恵をお返しできる環境になった。だから、基本的に下から上への世代間リレーは理に適った考え方であるといえる。
 - ② 「情けは人のためならず」は、親切は親切をされた人のためにならないから止めておけという意味で、この解釈は現在でも少しも変わらずに受け継がれている。
 - ③ 上から下への世代間リレーという考え方からもわかるように、これまで受け取った無数の目に見えぬ恵みにはお返しをしないことが公正なのである。
 - ④ 上の世代から受けた恵みを下の世代にお返ししようという考え方に立脚して、支えあいを実現する新しい開かれた共同体について考えるべきである。

問題Ⅱ 次の各問いについて、その解答を選択肢の中から一つずつ選び、番号で答えなさい。

問一 次の身体の一部を表す語を用いた慣用句の中で、□に入る語が他と異なるものはどれですか。

- 11
- ① 追い詰められて、やっと□に火が付く。
 - ② あの人は、礼儀正しく、穏やかで、□の低い人だ。
 - ③ 思いがけない急な出来事にすっかり□を抜かす。
 - ④ 意気込んで始めたのに一か月で□砕けになる。

問二 次の文中の四字熟語の空欄に入る語として、最も適切なものはどれですか。

- 12 古色蒼□としたたずまいの寺院。
- ① 全
 - ② 善
 - ③ 然
 - ④ 禅

問三 次の慣用句やことわざの意味として、最も適切なものはどれですか。

- 13 手をこまねく
- ① いろいろと手をまわして裏工作する。
 - ② どうしようかと悩みあれこれと試行錯誤する。
 - ③ 何もしないで見過ごす。
 - ④ 相手を自分の方へ呼び寄せる。
- 14 取らぬ狸の皮算用
- ① 駄目だとわかっていながら無理にお願いすること。
 - ② 不運な結果ばかり考えてしまうこと。
 - ③ 無知な者には何を言っても無駄なこと。
 - ④ あてにならないことをあてにして成果を期待すること。

問四 次の会話文の空欄に入る文として、最も適切な敬語表現はどれですか。

患者「こちらの病院に来るのは初めてなのですが……」

受付「では、こちらの問診票に、お名前とご住所を

- 15
- ① お書きください
 - ② 書いてください
 - ③ 書いていただけますか
 - ④ 書いてもらっていいですか

問五 次のうち、対義語の組み合わせでないものはどれですか。

- 16
- ① 刷新—斬新
 - ② 解放—拘束
 - ③ 急性—慢性
 - ④ 絶対—相対

問六 次のうち、二字ともに音読みの熟語でないものはどれですか。

- 17
- ① 和漢
 - ② 職場
 - ③ 安否
 - ④ 機嫌

問七 次の熟語のうち、上と下の漢字が示す意味の関係が他と異なるものはどれですか。

- 18
- ① 豊富
 - ② 繁栄
 - ③ 思慕
 - ④ 登校

問題Ⅲ 次の(一)(二)の、枠内の文章は順不同に並んでいます。論旨の通る最も適切な順序を、後の①～④の中から一つずつ選び、番号で答えなさい。

(一)

ア 大極殿の前面には朝堂院と呼ぶ建物が合計十二棟並んでいて、今でいえば各省庁の役人がそれぞれの建物に出勤した。そして朝堂の名が示すように、午前中には国家のさまざまな政務がここで行なわれた。

イ 大極殿は、太郎焼亡と呼ばれる大火で焼失した。一一七七年のことで、これ以後再建されることはなかった。永遠に地下に埋もれてしまったのである。歴史上の建物というのはどれでもそうだが、歴史が進み、必要がなくなってしまうば棄てられる。一一七七年といえば、源頼朝が鎌倉に幕府を開くすぐ前のことであり、まさに時代は貴族から武家へと歴史の担い手の大きく替わるころのことだった。

ウ 平安京の遺跡で、最も重要なところを一つといわれたら、わたしなら大極殿をあげる。平安京の顔であり、またいろんな意味で大切な史跡だといつてよい。

エ この点について少し説明を加えておきたい。まず名称だが、大極とは宇宙の根源、中心をあらわすことばであり、したがって大極殿(太極殿とも書く)は平安京ばかりか、日本の心臓ともいうべき施設だということになる。天皇の即位式や、即位にともなう大嘗祭もここで行なわれている。

オ 大切な第一の点は、ここが国家の政務や儀式などのおこなわれる施設だったということだ。そのたびに天皇が^{しゅご}出御し、にぎにぎしく事が取り行なわれた。

(中略)

大極殿遺跡の大切な第二の点は、現在も人々の生活が遺跡地の上で営まれているということである。千本丸太町は頻繁な通行量のある道路だし、わたしはすぐ西の小学校に通っていたのでよく知っているのだが、付近も古くからの商住混雑地区である。大極殿は平安宮のごく一部の施設にすぎないのであって、ほかにも

多くの宮殿や官公庁の遺跡が付近の地下に眠っている。

(井上満郎「平安京史跡探訪7 平安宮大極殿」)

[注] *1 出御…天皇・皇后などがお出ましになること。

- 19
- ① イ ↓ ア ↓ オ ↓ ウ ↓ エ
 - ② イ ↓ オ ↓ ウ ↓ エ ↓ ア
 - ③ ウ ↓ オ ↓ エ ↓ ア ↓ イ
 - ④ ウ ↓ イ ↓ オ ↓ エ ↓ ア

(二)

ア 近世大名家の史料には、おおよそ一八世紀前半まで「御袋様」の語がみえる。秋田藩主佐竹家の史料をみていくと、初代藩主佐竹義宣よしのぶに仕えた梅津政景まさかげの日記（『大日本古記録 梅津政景日記』）には、「御袋様」が登場する。政景が「御袋様」と呼んでいたのは、義宣の実母宝寿院である。宝寿院は義宣の父佐竹義重よむねの本妻であり、戦国大名伊達晴宗はるむねの娘であった。一七世紀初頭の大名家では、大名の父の本妻が、実母として、家臣から「御袋様」と呼ばれていた。

イ 一八世紀半ばまで、大名家の江戸屋敷において「御袋様」は、奥向の中心的な存在としてあった。しかし徳川吉宗が将軍になると、一七三〇年代にかけて、将軍が公認していない「御袋様」への身分上昇は抑制され、呼称としても用いられなくなる。

ウ 「お袋」について、『日本国語大辞典』には「母親を敬つていう語」、「母親を親しんで呼ぶ語」とあり、「現在では、他人に対してへりくだって自分の母をいう場合が多い」とされる。対義語として「おやじ」が挙げられている。また語誌として「本来、母親の敬称で、高貴な対象にも使用したが、徐々に待遇価値が下がり、近世後期江戸語では、中流以下による自他の母親の称となった」と説明されている。

エ 若者の世代では、「お袋」と自らの母を呼ぶことや、「誰々のお袋さん」と知人の母を呼ぶことは、少なくなったように思われる。一方で、

一九七〇年代には「おふくろさん」という母への慕情を込めた歌謡曲がヒットするなど、世代によっては「お袋」という語に親しみを感じるのではないだろうか。

オ 一七世紀半ば以降になると、大名本妻は「御前様」と称され、後継者を生んだとしても、「御袋様」とは呼ばれなくなる。その一方で大名家では、本妻に子がない場合、後継者の実母を出自に関係なく、妾から大名の家族の一員まで身分上昇させ、「御袋様」として厚遇するようになる。「御袋様」は幕府から婚姻を許可されていないものの、姻戚大名の許可を得て、大名家間の贈答にも関与した。

大名家において、母と子の関係に基づく「御袋様」の呼称と処遇は、時代によって変化していたのである。

(清水翔太郎「日常語のなかの歴史31 おふくろ【お袋】」)

20

- ① ウ ↓ エ ↓ オ ↓ ア ↓ イ
- ② エ ↓ ウ ↓ ア ↓ オ ↓ イ
- ③ ウ ↓ エ ↓ ア ↓ イ ↓ オ
- ④ エ ↓ ウ ↓ イ ↓ ア ↓ オ

問題Ⅳ 次の各問いについて、その解答を選択肢の中から一つずつ選び、番号で答えなさい。

問一 次はある作品の冒頭です。この作品はどれですか。

祇園精舎の鐘の聲、語行無常の響あり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす。おこれる人も久しからず、唯春の夜の夢のごとし。たけき者も遂にはほろびぬ、偏に風の前の塵に同じ。

- 21 ① 平治物語 ② 太平記 ③ 方丈記 ④ 平家物語

問二 次の作品名と成立の時代の組み合わせのうち、正しくないものはどれですか。

- 22 ① 源氏物語―平安時代 ② 大和物語―平安時代
③ 枕草子―鎌倉時代 ④ 今昔物語集―平安時代

問三 次はある作品の冒頭です。この作品の名称はどれですか。

石炭をば早や積み果てつ。中等室の早のほとりはいと静にて、熾熱燈の光の晴れがましきも徒なり。今宵は夜毎にこゝに集ひ来る骨牌仲間も「ホテル」に宿りて、舟に残れるは余一人のみなれば。

- 23 ① 舞姫 ② こころ ③ 普請中 ④ 門

問四 次の作品のうち、志賀直哉の作品でないものはどれですか。

- 24 ① 小僧の神様 ② 城の崎にて
③ 暗夜行路 ④ お目出たき人

問五 次の説明にあてはまる作品はどれですか。

中国唐代の伝奇小説に基づき、漢詩に執心し、「臆病な自尊心」と、「尊大な羞恥心」とを持った男が、虎に変身する過程を描いた作品。

- 25 ① 李陵 ② 山月記 ③ 名人伝 ④ 文字禍

問題V 次の各問いについて、その解答を選択肢の中から一つずつ選び、番号で答えなさい。

問一 次のA、Dの各群の①～④のうち、傍線部の漢字の読みが適切でないものはどれですか。

- 26 A
- ① 灰色の雲が空全体を覆(おお)う。
 - ② 昆虫が物陰に潜(ひそ)む。
 - ③ 心の赴(ゆ)くまま行動する。
 - ④ 昔の技術が現代に蘇(よみがえ)る。

- 27 B
- ① ある時雨(しぐれ)の降る晩。
 - ② 如月(によづき)のはじめから弥生の末。
 - ③ 古墳内部の極彩色(ごくさいしき)の壁画。
 - ④ 「五月雨(さみだれ)のふり残してや光堂」という芭蕉の句。

- 28 C
- ① 都会での生活の恩恵を享受(きようじゆ)する。
 - ② 会社組織の方針に背馳(はいち)する。
 - ③ 不正行為を糾弾(きゆうだん)する。
 - ④ 寺を建立(けんりゆう)する。

- 29 D
- ① 文章を綴(つづ)る。
 - ② 才能に恵まれた人が羨(うらや)ましい。
 - ③ 大金を投じて名画を購(あなが)う。
 - ④ 面と向かって罵(のの)しる。

問二 次のア～エの傍線部と同じ漢字を含むものはどれですか。

- 30 ア インターネットを利用してケンサクする。
- ① 激しいケンオの表情を浮かべる。
 - ② 実験により仮説をケンシヨウする。
 - ③ 読者の声にケンキヨに耳を傾ける。
 - ④ 彼の影響力は今でもケンザイである。

31

イ 従来の考え方にギギを呈する。

- ① 最新のギキョクを上演する。
- ② 受け継いだリユウギを守る。
- ③ 多くの人がギシンを抱く。
- ④ 多大なギセイを払う。

32

ウ 人前でシエウタイを演じる。

- ① 占領軍に土地をシエウダツされる。
- ② 規則のシエウチを図る。
- ③ シエウアクな犯罪が多発している。
- ④ 絵画のシエウフクが専門である。

33

エ 世界的にシンコクな不況である。

- ① 衆議院を解散して国民のシンパンを求める。
- ② 発言のシンギの程は定かではない。
- ③ 大型車が通ると地面がシンドウする。
- ④ シーラカンスはシンカイにいる魚である。



